



くらしによりそい、願い実現で しっかりがんばる

県議2期8年 **佐藤まさゆき**

県議会に送っていただき8年、「くらしの切実な声と原発ゼロの思いを、県政に届けたい」と、力一杯頑張ってきました。

知事からくらしの痛みに応える声、原発ノーの思いを聞いたことがありません。

議会も残念ながら、知事の提案に何でも賛成です。こうした中、たくさんの方の切実な思いに励まされ、毎議会の質問に立ってきました。

子どもの医療費窓口無料をくりかえし求め、県の姿勢を変えさせ、多くの市町で窓口無料がひろがりました。何度も県に要請にいられたお母さんから「これで安心して病院に行けます」と言われた時、頑張ってきて本当によかったと思いました。

安倍政治の下で、格差と貧困がひろがる中、くらし・福祉を守る自治体の役割が切実にもとめられています。

「もっと届ける声がある」「もっと実現させたい願いがある」
佐藤まさゆきは全力でがんばります。

プロフィール

- 1967年12月新潟県生まれ。金沢市額新保在住、金沢大学理学部物理学科卒
- 2011年県議当選（2期）、党県副委員長、県憲法会議代表委員、県原水協代表理事
- 趣味／音楽（ZARD）、映画・落語（柳家小三治）鑑賞
- 民主主義文学会準会員

くらし・子育て応援 **3**つのお約束

子どもの医療費 18歳まで 窓口完全無料に

県の子どもの医療費助成は、中学校卒業まで拡大します

- 県の助成が増えれば、「金沢市の中学卒業まで」を「18歳まで」拡大することも可能になります。
- 県内では白山市、小松市など12市町が18歳まで完全無料です。

県の負担9億円で可能

学校給食費の 無料化へ

県の補助制度で、小中学校給食の無料化に踏み出します

- 全国の3割近くの自治体が「無償化」「一部無償化」を行っています。
- 県内では、中能登町、志賀町が、2人目以降は無料です。

小中の完全無料に、
県市町で49億円

国保料・ 子どもの「均等割」 ゼロに

県独自の補助や減免制度をつくり、国保料を引き下げます。子どもの「均等割」はゼロに

- 加賀市は子どもの「均等割」が半額です。

子どもの「均等割」ゼロ、
5億3千万円で

財源はあります

- 全国上位クラスの土木費は、全国平均に押さえるだけで、毎年100億円程度生まれます。
- 「財政調整基金」自由に使える県の貯金が110億円あります。



笠井あきら 衆議院議員

笠井あきら政策委員長来る!

日本共産党 演説会

●日時 3月10日(日) 午後2時

●場所 金沢市文化ホール

参議院比例



参議院議員
井上さとし

参議院選挙区



党県書記長
西村ひろし

金沢民報

2019年2・3月号外 発行：日本共産党金沢地区委員会
〒921-8022 金沢市中村町9-10 TEL/076-243-3400 FAX/243-3527
日本共産党金沢地区委員会の政策と見解を紹介します。

日本共産党